



加古だより

加古小学校通信
令和5年6月号
No.11 (327号)

「結（ゆい）」の力

校長 吉田 博明

<「結（ゆい）」の力>

毎年3年生で行っている田植え体験。小学校では、自然学校と合わせて、兵庫県が進める「兵庫型『体験教育』」の取組です。いつも中新田営農の方々にお世話になっています。体験も終わり最後のまとめの時、「結の作業」についてお話をしてくださいました。「結（ゆい）」というのは、その字のとおり、結ぶという意味。一人一人、持っている力は違うけど、それを合わせるととても大きな力になるというお話でした。みんな得意不得意があるけれど、それぞれが得意な力を出し合って協力すると、田植えのような大変な仕事も短い時間でやることができる。そんな「結」の力を忘れないで、と教えてもらいました。



<普段からの力>

昨日の授業中、稲美町防災無線の訓練放送が流れました。ちょうどその日は「子ども安全の日」。毎月15日前後に設定しており、その日は学校内の遊具や危険個所の点検を行う日になっています。昨年度から、コミスクの委員の方やPTAの本部役員の方のお世話になり、点検や校内清掃をしてもらっています。防災無線が鳴った時4年生の辺りにおられたそうですが、先生の声も児童の声も聞こえず机の下にもぐる音しか聞こえません。教室には誰もいないのかと思ったとのことでした。普段からの訓練が良くできているから、静かに行動できるのだと思うとほめてくださいました。みんな、さすがです！

<自分たちでつくる自然学校>

今週水曜日から、5年生が自然学校に出発しました。今年度のテーマは「自分たちでつくる自然学校」です。ここ2年間加古小学校の自然学校では、教師はできるだけ手や口を出さずに、子どもたちで考え行動できる取組を進めています。とは言っても細かいメニューや時間帯は前もってスタッフの方と教師が綿密に相談し、しおりにまとめています。子どもたちは、それをどう活動し、どう質を高めるかに取り組みます。その結果、今の6年



生は、自分たちでスタッフの方に相談し、休み時間に大広間を貸してもらったり、ハチ高原のマップをもらって散策したりしました。そういう意味で、「『自分たちでつくる』自然学校」なのです。この2年間、加古小学校の自然学校では、絆創膏を一枚も使っていません。ケガをしないように、自分たちで気を付けるからです。今日から私も参加できます。子どもたちの頑張り期待しています！